

# HPV ワクチン

子宮頸がんや肛門がん(扁平上皮癌)や尖圭コンジローマの原因となるヒトパピローマウイルスの感染を予防するワクチンです。

ワクチンの種類によって、予防することができるウイルスの型が異なります。

サーバリックス 2価: HPV16,18 型

ガーダシル 4 価: HPV6,11,16,18 型

シルガード 9 価: HPV6,11,16,18,31,33,45,52,58 型

9 価ワクチンは子宮頸がんの原因となる HPV 型の約 90% をカバーします。

※16,18 型は子宮頸がんの原因の約 65% を占めているハイリスク型のウイルスです。

検診ではみづかりにくい腺がんも増えていますのでワクチンによる予防は大切です。



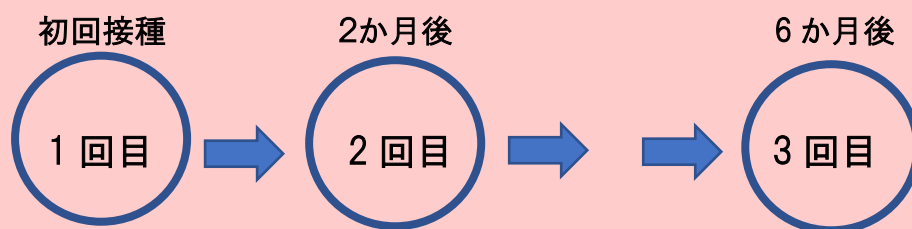
## 接種対象年齢

ワクチン名	定期接種対象または任意接種
サーバリックス	定期接種(小学 6 年生~高校 1 年生相当の女子) 任意接種(10 歳以上女子)
ガーダシル	定期接種(小学 6 年生~高校 1 年生相当の女子) 任意接種(9 歳以上男女)
シルガード	任意接種(9 歳以上女子)

## 接種スケジュール

十分な予防効果を得るためには、**同種類のワクチンを必ず 3 回**接種してください。

(同じワクチンを 3 回接種することで予防効果が確認されています。)



1 年以内に 3 回の接種を終えることが望ましいとされています。

また 2 回目および 3 回目の接種が 2 か月後および 6 か月後にできない場合は  
医師に相談しましょう。

## 接種後の注意点

☞ 接種後にめまいやふらつき、失神などが起こることがあります。倒れないように注意し、すぐに帰宅はせず 30 分程度は病院内にいて、体重を預けられるように場所なるべく立ち上がることを避けて安静にしてください。

☞ 接種後は、注射部位を清潔に保ってください。

☞ 接種後24時間は、過度な運動を控えてください。

☞ 接種した日に入浴しても問題ありません。ただし、身体を洗う時に注射部位を強くこすらないようにしてください。

☞ 3回目の摂取が完了しないうちに妊娠した場合は、医師にご相談ください。

☞ 次回も同じ HPV ワクチンを接種してください。

引用:シルガード9を接種された方へ MSD社パンフレット

## 副反応

～接種により次のような副反応があらわれることはあります。異常が認められた場合は

すぐに医師、薬剤師、看護師に相談してください～

注射部位の痛み、発赤・腫れ 10%以上

発熱、注射部位のかゆみ、出血、熱っぽさ、しこり、知覚消失、頭痛、悪心など 1～10%未満

(頻度は低いですが特に注意が必要な副反応)

・過敏性反応[アナフィラキシー、気管支痙攣、蕁麻疹(頻度不明)]→呼吸困難、蕁麻疹などを症状とする重いアレルギー

引用:シルガード9を接種された方へ MSD社パンフレット